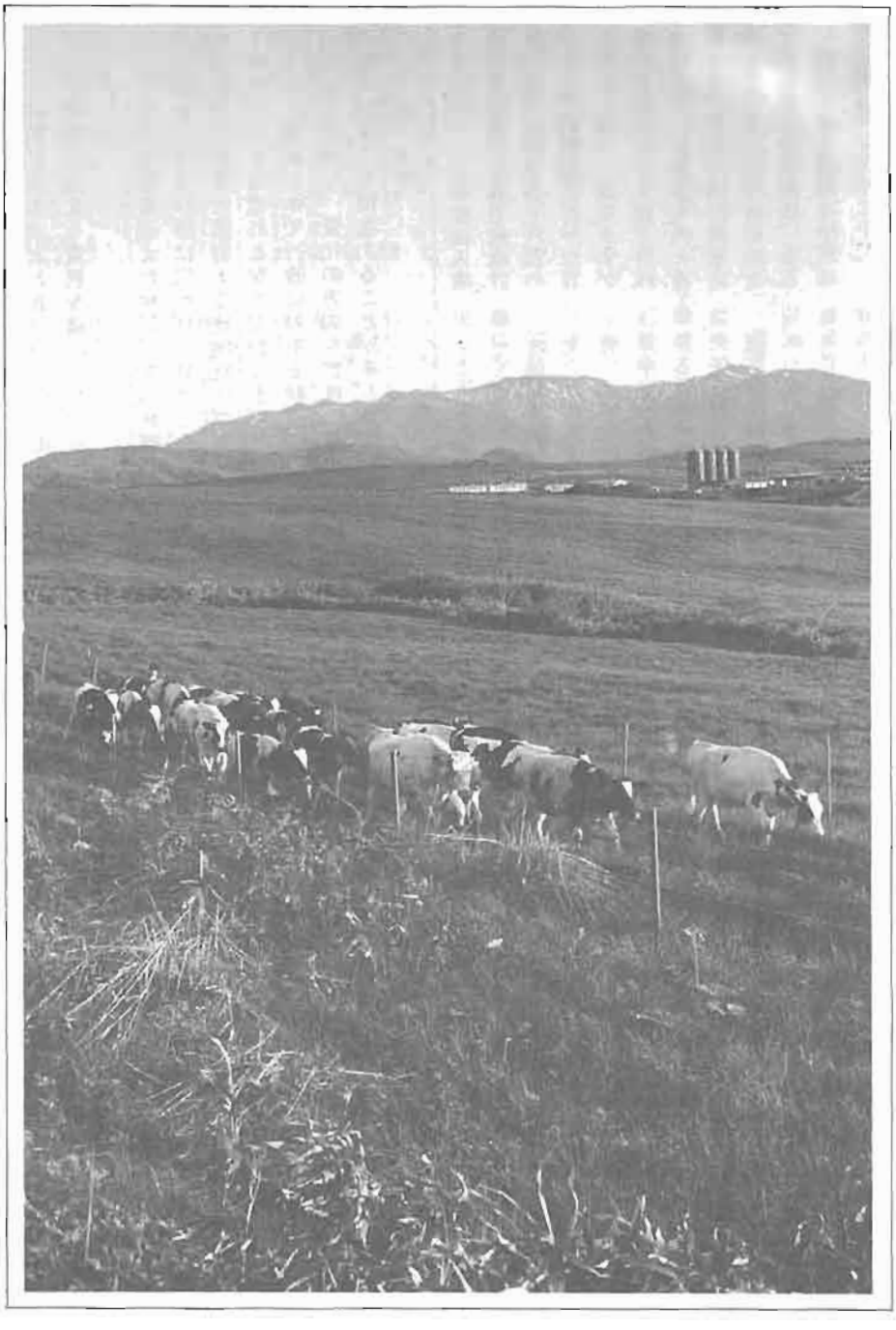
昭和60年
4月号
広報いまかね
No315



昨年の日進高原模範牧場にゆうぼく風景から

21世紀にむけて

発展計画 行方針

第1回町議会定例会

3月11日から20日の10日間を会期として、議会が開催され、町の執行方針を始め、教育行政執行方針や一般質問、昭和59年度予算の最終補正、昭和60年度予算、条例の一部改正や制定、陳情について審議がなされました。

町長から町の執行方針について次のように述べられました。

私は、町民生活の向上と自治振興の発展を目標に、町民の信頼と期待に応える責務を痛感しながら町政を執行してまいりました。

八十年代の中盤を迎えた今日、生活意識の変化、多様化、価値観の複雑化があらゆる分野に広がりを見せております。

地方自治の充実と活力ある地域社会づくりには要求度が強く時代の大きな流れとなっております。

こうした情勢の中で行政に対する期待に応えていくためには現状を把握し、変化の方向を的確に分析、伸ばせて行財政の簡素効率化を推進することが最も必要な課題とされるところであります。

地方自治体の六十年度歳入歳出見込みを計算した地方財政計画では、前年度対比四・六%の伸率となり、超緊縮型だった五十九年度を上回っておりますが公債費の負担増により地方財政の硬直化がさらに進むものと考えられます。また、同計画策定の焦点となりました国庫補助金削減による地方負担増は、地方交付税増額と地方債増発で穴埋めしております。

貴田増の大半は地方債、つまり住民の負担となる借金によってまかなえという厳しい状況であります。

こうした地方財政の現状を正しく認識し、健全財政を堅持して地域産業の振興、社会福祉の充実と住みよい環境づくり、教育、文化、スポーツの振興等を基本とした町経済の活性化をはかるため、御常資産構合積立金六千五百万円を繰りくずして編成、町民福祉の向上、活力あるまちづくりに最大限の努力をしております。

地域産業の振興

昨年は、春先の融雪遅れや異常に長期にわたる降雪が心配されたところでありますが、五月下旬以降の好天に恵まれ基幹作目の水稲は、作況指数百十四と近年第二番目の豊作となりました。

畑作物についても一部干ばつの影響も見受けられましたが全般的に平年作以上の作柄となりましたことを心からお喜び申し上げます。

しかしながら今の農業をめぐる諸情勢は、農畜産物の価格の低迷や生産資材の高騰、更には、四年続きの冷害の影響などから農家経済も極めて厳しい情勢にあります。

これが対策については、農家の経営再建対策をはじめ、土地基盤の整備や土地づくりの推進、更には、営農基本技術の普及徹底に努め、特に、四年続きの冷害や設備投資などにより負債が累積し、経営の悪化している農家については、農協においても経営再建農家に係る特別指導員一を定め、専任職員を配置して指導に努めているところであります。

再建計画の作成にあたって、借入金の償還が手メクになっておりますので現行の償付期間が五年の五十年以内のものを本年より、最大限二十年以内、据置期間五年以内二の長期資金に条件を緩和したところです。

町としてもこの長期資金の元利子三%の利子補給を三ヵ年実施、経営の健全化を推進するための予算措置をしました。

農業振興事業については、前年に引続き予算措置をしたものもありますが、新規事業として、野菜の定着化をはかるため、野菜価格の安定推進事業をはじめ、土づくりや土壌改良のための石礫除去、化土改良、緑肥導入事業、更には、乳牛の資質改良や経営の改善をはかるための乳牛能力検定事業などについて予算措置をしたところであります。

特に、今後の農業振興をはかるためには、地域集団組織の育成が重要と考え、地域農政推進活動を通じて積極的に推進してまいります。

第三期山村振興事業については、本年度事業として、鉱石加工、木工加工、わら加工を主体とした地域特産物生産センターを花石地区に建設、地域の活性化と農林家の余剰労働力の活用をはかりながら、将来的一村一品の目玉事業として位置付をしたいと考えております。

第三期水田利用再編対策につ

厳しさをのり越えた 町政執

昭和60年度



大雪にみまわれた今年の今金「排雪作業風景から」

いては、本年度の転作等目標面積並び限度数量は、昨年十二月二十七日檜山支庁より配分を受けたところであります。

転作等目標面積は前年より二十四haの一千九十二ha、限度数量一千五百八俵増の十三万五百俵が配分されました。

この転作等の目標面積の中に他用途利用米の面積百十四ha、八千四百九十五俵が含まれております。

この配分の概要については、自主転作面積を控除し、残りの面積について一律配分をするものです。

他用途利用米の配分については、水田耕作面積に対して一律配分、限度数量の配分は、生産調整個々の過年度実収をもとに水田耕作面積に応じて配分いたします。

土地改良事業については、農業基盤整備事業の推進、転作対策としての排水事業の実施、営農地の拡大のための農地開発、農道整備事業を基本として年次計画に基づき施工しております。

国営今金東部地区農地開発事業については、本年度事業費二億五千万円、開畑三十八・二ha、支線農道千m等の計画となっております。

道営事業については、継続実施中の緑金地区農免農道建設五百七十m、第二百石地区基幹農道建設二百二十m、花石地区開拓地道路改良六百七十mおよび新たに三m、金又地区過疎農免農道四百八十m、更には、神丘地区畑地帯総合土地改良、白石地区土地改良総合整備、八束地区は場整備、田代、金原地区農地開発事業等も年次計画に基づき整備されることになっております。

特に、昭和五十八年度より施工しております第二地区開拓地飲雑用水施設は、本年度配水管布設工事をもって事業完了の運びとなっております。

多年懸望のあった南町道八束左岸線の整備は、御田地区山村基幹農道整備事業として新規採択、本年度実施測量設計となっております。

団体営事業については、昭和五十六年度より継続の金原地区農村基盤総合整備事業は、農業集落道及び排水整備等をもって本年度完了となります。

新規地区として、青木地区農道舗装整備事業が採択され本年度より着工、北斗地区農免農道整備は、本年度概要調査計画を実施することといたしております。

林業振興については、昨年度第二次森林総合整備計画を策定、計画的に事業の推進をしているところであります。

本年度の民有林育成事業は、新植百四十五ha、天然林改良百四十五ha、下刈千四百二十二ha除間伐三十六ha、野そ駆除千四百二十二haを計画しております。

このうち町有林造成事業は、新植十ha、下刈百ha、野そ駆除百三十一ha、その他補植や作業路の補修等についても予算措置をしております。

更に、民有林の育成をはかるため、不在村者が所有する森林経営基盤事業や下刈、野そ駆除事業についても一部助成措置を講じ、林業の振興に努めてまいりたいと存じます。

新林業構造改善事業については、本年度事業として真生産利用組合が実施するいたけ生産施設と航空写真整備事業（地番図等多目的利用）を計画しております。

空写事業については、予算枠の配分から流動的であります。

治山事業については、道が実施する金原地区の民有林と中里町有林地内で実施する予定です。

保安林改良事業については、中里町有林を計画しております。

林道事業については、奥窟線の継続事業と新規事業として、神丘、奥利岡線の広域基幹林道開設事業が道の過疎代行事業として本年度設計調査が実施される予定です。

商工業の振興については、昨年は豊作であったものの、四年続きの冷災害により景気の低迷がもたらした数々の無しい問題がありました。

小規模経営の多い当町の商工業者の経営指導は、商工会の適正な指導を期待するとともに各業種の充実を願うものです。

社会福祉の充実と住みよい環境づくり

社会福祉については、心豊かに健康で生活ができる、温かく潤いのある地域社会を築き上げなければなりません。

本町におきましても高齢化社会に突入して皆さと高齢者がともに地域で生活ができることを願って福祉施策を積極的に推進する必要があると考えます。

地域社会の連帯と協調は、住民自治の拠点となりますので、住民の参加を促し、輪を広め福祉活動を進める民間団体の ボランティア活動が社会福祉施設や行政機関などと有機的な連携をとることが大切であります。

高齢化社会の中にあって核家族化が進み、核発意識の変化や高齢者自身と家族のニーズが多様化しております。

こうした中にあって、明るく健康に暮すには、豊富な経験を生かした幅広い活動、青少年や婦人との交流、教養を高めるための講習会や研修会への参加、スポーツ、レクリエーションによる心身の健康保持など、自分が活動を展開してゆく余地があります。

ひとり暮しの老人や寝たきりで介護を要する方々に対するホームサービス、生活環境の保持、社会福祉施設等の利用、その他必要に応じて援護してまいります。

健康管理については、個人の期待にこたえます、家族や社会全体の期待であることを自覚し、健康診査、健康教育の機会を積極的に利用、健康管理方法や知識を習得し、生活することが望まれます。

生きがい対策を含め、各種事業を総合的に進めるにあたり、民生協力委員の協力を得て独居老人の実態をいたします。

心身に障害を持つ人口は、社会構造の変化に伴い、異変による事故等と疾病構造が多様化しております。

障害者とともに生き、等しく暖かい社会思想をつくることであり、町民の理解と協力のもとに福祉活動が、より一層促進されることを期待するものです。

在宅障害者に対する訪問サービス、健康相談、家族への指導や研修、医師による直接指導、生活環境の保持、施設収容に必要な援護を行なうなど積極的な推進を図り、健康管理の一翼として社会計画を講じてまいります。

児童福祉と母子家庭等につきましては、婦人の労働力が家庭経済と農業や中小企業経営の支えとなる一方、社会参加の増大、母子家庭の増加傾向の中で、次代を担う乳幼児や児童には良い環境ではありません。

母子家庭等の生活を安定させるため、各種の制度が有効利用できるよう周知し、各機関や団体の指導を得て最大限に活用してまいります。また、乳幼児や児童の保育措置、託児施設の整備を行ない、親が安心して労働や社会参加ができるよう努めてまいります。

保健衛生については、町民の健康を守り、増進するためには、健診率をはじめとして、健康教育、健康相談事業の充実強化を図ってまいりましたが今年度から三歳児に限り、月前十歳児の上汗帳により負担割合を改正いたしました。

自由診療医分については、従来どおりいたしました。

へき地、季節保育所の保育料は、昭和五十五年から改訂を実施してまいりましたが今年度から三歳児に限り、月前十歳児の上汗帳により負担割合を改正いたしました。

自由診療医分については、従来どおりいたしました。

公衆浴場については、昨年四月から老人福祉センター浴場を公衆浴場として利用しておりますが、利用者数は昨年同期対比十二、三%減少しております。

今後の運営については、私用者からの声を聞きながら逐次改善に心がけ快適に利用できるよう努力してまいります。

国鉄瀬棚線については、存続期成会として廃止承認以来、利用促進、陳情活動や瀬棚線の存続をはかる国会請願の採択を図るため、これまで特定地方交通線対策協議会に参加することを拒んできたところです。

このまま乗車数の減少を続けることは最悪の場合、地元の実情が反映されないまま見切り廃止につながりかねないとの判断から、二月五日瀬棚線存続期成会では幹部会を開催して瀬棚線の今後の対策について検討しました。

その結果として

一、第二廃止各線の動向を調査する。

二、詳細の結果の見通しについて調査する。

この二点を決定し、二月二十日上京、請願の結果について意見を伺いました。次いで二月二十七日道開発調整部に出向き、第二次廃止線各線の動向について調査をしたところです。

三月四日役員会を開催、今後の対策について協議した次第であります。

役員会としても、国鉄自体の分割化、国鉄再建監理委員会の分割民営案の骨子が公表されております。更には、第三次廃止対象線も検討されております。

国内の状況と北海道第二次廃止対象線についても、昨年十二月一日に協議会につく各線において、既に四線が協議会につ

いております。

同じく昨年九月一日に協議会につく各線も、それぞれ協議会につく町で準備を検討中である情勢の中から、瀬棚線としてもその方向に順応せざるを得ないとの結論に至ったのであります。

この方向に進む結論と行動に出る以前に、各町の瀬棚線存続期成会の一理解と結論を得ることが重要であります。

更に重要な点は、各町議会の二千承と決議が最重要でありますので、この点、各町毎に方向づけがなされた段階で総会等を開催し、その後に行動を起してゆくことで意見の一致を見ているところであります。

消防対策については、住民の生命と財産を守る見地から予防消防の強化につとめ、予防査察の実施等、本来の使命達成のため努力してまいります。

交通安全対策については、推進委員会、安全協会並びに指導委員会のご協力と連携を密にして町民を交通事故から守るべく努力を図っているところです。

残念ながら事故の絶滅を期することができない状況であり、昨年、本町における事故件数二十三件、傷者から見ると十件の増でありました。うち死者一件の増、傷者二十一件の増となっております。

より一層の安全対策を推進して絶滅に努力してまいります。

町道の改修については、神丘七号線が新規採択となりました。また、継続実施中の豊田線改良事業、八束高岩線改良事業については、引続き実施してまいります。

代行事業で推進しております環境改良事業につきましても引続き実施してまいります。

施設工事については、稲穂線二千三百mが新規採択となりました。継続事業については、神丘六線線、豊田線の予算措置をいたしました。

災害事業については、防雪柵二路線で延長五百六十m、線雪ダンプトラック一台を更新し冬期間における住民の足の確保に万全を期したい。

稲作計画生産調整事業については、田代線は昨年完了しました。残る南通り線は、本年度より着工の運びとなりました。

無業の社会公園建設については、本年度より着工を予定しておりましたが国の緊縮政策から六、十一年度着工に向けて努力してまいります。

大規模多目的ダムの美利河ダム建設については、昭和六十三年度の完成を目指して工事が進められております。本年度は堰体基礎掘削コンクリート打設、基礎処理、放流設備工、町道付替工事の上利別橋下部、上部の製作、地すべり工事が計画されております。

施設の整備については、今金中学校プール上屋建設事業、町民テニスコート建設事業、教職員の住宅整備（今小谷一棟二戸）として予算措置をしたところであります。

教育・文化・スポーツの振興

人当たりの医療費が高額に推移しております。

国民健康保険特別会計施設勘定については、地域の医療を取りまく環境は困難性を増して混迷の度合を深めております。

当町の国保病院は、町の中核病院にて住民の信頼に応えることのできる医療機関として、その充実に努力してきたところでありますが、公営企業として、その運営内容を将来的な視野から更に検討を加える時点にあります。

このような観点から病院長と協議、赤字克服のための施策を講じ予算編成を了したところです。

簡易水道事業特別会計については、昭和五十七年七月に水道料金の改訂をし、経費の節減、合理化に努め運営をしてまいりましたが企業債償還金の増加、諸経費の高騰等により苦しい状況にあります。

本会計の健全化をはかるために料金の見直しを行なうのが適当と考えられますので、七月に改訂を目途に検討中であります。

国営北檜山右岸土地改良事業及び道営神丘地区畑地帯総合土地改良事業については、営農用水工事も本年度完了の運びとな

特別会計事業について

保健活動はもとより医療費の適正化、特別施設の活用等、健全財政に向けて積極的な努力、税の見直しをする所存です。

老人保健特別会計については、昭和五十八年二月に老人保健法が施行されてから二年を経過しており、医療給付費は一時的に横ばいの状態で推移しておりましたが、昨年後半から上昇、これ等について具体的な疾病構造の分析資料を作成し、重点的に保健活動を行なってまいります。

特に、本町は全国的に老人一

り、神丘、鈴岡地区の簡易用水施設配水管布設工事を計画しております。また、下福根、金又簡易水道配水管拡張工事を施工、新生地区の飲料水不足を解消しようとするものです。

地方行財政をとりまく環境は、一段と厳しくなっておりますが町政をあずかる重責を深く銘記し、地域社会振興のため、最善の努力を傾注する所存であります。

教育行政執行方針

学校教育については、人間尊重の精神に基づき、児童生徒の心身の調和のとれた発達を目指し、健全な国民の育成を期して行なわれるものであります。

子供達が、心豊かに健全に育つことは親の願いでもあり、地域社会の期待するところでもあります。

学校教育の推進については前年同様の重点項目を継承し、一段と強化充実してまいる所存です。

教育課程の実践にあたっては常に評価と反省を加え、児童生徒が自から進んで学習に励み、学ぶ喜びを味わいながら成就感のある学校生活ができるよう、学校や教職員の創意を生かした教育活動を期待するものです。

種川中学校の統合については、懸案でありますが昨年八月に PTA役員の方々のご出席をいただき統合についてのご理解を求めたところです。

様々のご意見があった中で当委員会として地区別懇談会を開催したい旨申し上げたところでありますが、PTA三役が委員会の考え方を各地区に伝え、回答するとの話しがまとまりました。PTAでは、十一月末より四日間にわたり地区別懇談会を開催、その結果について十二月十四日に報告を受けたところであります。

◎今後相当年の間複式校にはならない。

◎六年前統合反対の決議がなされ、今もその反対には変りはない。

◎統合中学校の建築にさいして種川地区住民の意見を充分聞かなかった。

◎老朽化が著しいので全面改築してほしい。

等々であり、町政懇談会においても全面改築の要望があったところであり、意見は平行線をたどっております。

今後、このことについて、議会委員の議事により委員会と部落で話しを進めることになっております。

学校施設の休日及び夜間の管理については、文実報知部等の設備の充実がはかられて参りました。教職員の宿日直の廃止は、全国九十五%、全道六十%となっており、六十年度から道予算の計上もありません。

こうしたことから管内各町が検討、本町においても無人化にしたいと考えております。

なお、中学校については、部活動が相当数あることから実態の中で対応を考えております。

学校給食の運営については、物材料等において一部価格の変動はありますが総体的には大きな変化がないので栄養のバランスや衛生面に特に注意して従来どおり方針を踏襲してまいります。

幼稚園については、昨年と比較すると二名の増九十九名の入園予定数となっております。

入園料、授業料の改訂については、五十五年に改正し五年が経過しておりますので、今年度それぞれ千円のアップをすることといたしました。

社会教育については、地域や家庭の生活基盤や連帯感が弱体し、人間性の回復が強く望まれております。

町民の社会参加と連帯を高めて地域に根ざした文化の創造と活力ある地域社会の形成が必要であります。

地域主体の社会教育活動を主眼とした学習社会の実現を目指し

◎生涯の各時期に沿った学習の機会を整備、拡充するため関係機関や民間団体等と密接な連携を図り、個人学習、相互学習の奨励援助並びに集会学習機会の拡充を図ること

◎人間の協調と連帯に支えられた地域づくりを進めるため、その主要な役割を果す社会教育関係団体やグループ、サークルの自主的活動を助長し地域の課題や生活課題の解決のための実践活動の促進すること

◎時代の要請に応える社会教育主事、青少年、婦人団体指導者、リーダーの養成確保及び資質の向上を図るなど指導体制の充実強化の促進すること

以上の観点から種々の施策を講じております。

青少年の健全育成については、本町が発展を続け活力ある地域社会を築いてゆくためには社会環境に適切に対応し得る創造力とたくましさをもった心身ともに健康な青少年を育成することが大切であります。

特に、近年多発する非行などの問題行動を重視し、学校、事業、地域社会が相互に連携を図り、それぞれの教育機能を充分発揮して取り組む必要があります。昨年設置された今金町青少

年健全育成推進委員会の機能を充分発揮して青少年の健全育成に積極的に取り組んでまいります。

文化活動については、町民の生活水準の向上や余暇時間の増加などの社会的諸条件の変化に伴い町民の生活意識はより精神的な充実を求めようとする傾向にあり文化活動への関心が高まりつつあります。

町民一人ひとりが生涯の各時期を通じて自発的な文化活動を営む意識を高め、個性と創造性を培うとともに地域の伝統文化活動への参加が望まれます。

地域の文化遺産を継承し、文化財の保存と活用、愛郷思想の普及に努め優れた芸術鑑賞の機会や創作、発表の場の拡充、文化団体の育成強化に努めてまいります。

体育スポーツ振興については、町民の間に健康や体力の維持増進に対する関心が高まり、スポーツ活動に欲求が著しく高まっているところです。今後、単に健康や体力の維持増進の欲求の範囲にとどまらず運動の楽しさや仲間との語らいの楽しさを求めるなど、明るく豊かで生きがいのある生活の実現を目指す活動として、女性や高齢者の方々の参加が著しく増加し日常生活の中で、健康的にスポーツ活動を行なう方向へ進行しております。

また、スポーツ活動の場が地域中心やサークルへと移行しつつあるなどスポーツの大衆化の方向へ進行しており、この対応施策として

◎スポーツ指導者の体系的な養成確保及び資質の向上に努めるとともに住民の欲求に応える指導体制の確立を図ること

◎公共スポーツ施設の整備充実と学校体育施設の開放を図ること

◎スポーツに参加する機会の拡充に努めるとともに地域をはじめとしたスポーツクラブ、団体及び組織の育成を図ること

◎住民のスポーツ欲求や地域スポーツの実態等の情報を収集し提供する広報広聴活動の促進を図ること

以上四項目を柱にスポーツ振興充実を進めてまいります。

一般質問及び審議事項

■一般質問内容について

林　議員＝水道料金制度の見直しについて

「簡易水道の全町的普及に伴い、農村地帯の特に酪農家の水道大口使用による料金負担は経営上憂慮されるものがあります。

今後、酪農振興を促進する面からもこの点について別立て料金制度等の配慮がなされるべきと思われますが町長の見解を求めます。」

徳田　議員＝我が町に於ける地熱開発について

「新エネルギーとして注目されている地下熱源を多目的に雌雪対策、冬期農業ハウス栽培、水田水温上昇利用、発電事業、暖房用に利用するための調査研究を進めてはどうか。」

田中　議員＝企業誘致に対する行政の活発化について

「森町においては、カボチャ焼酎が企業化されている。わが町でも、特産男しぐいものの焼酎を企業化したいものである。また、農産物加工振興調査特別委員会を設け、食品加工、清酒の工場、いも焼酎等々の試作依頼するなど、企業促進の活発化を図るお考えはないか見解を求めます。」

長谷川議員＝今金町青少年基金の創設について

「ボランティア活動、青少年文化サークル援助、リーダーの表彰など地味な活動を応援することからスタートし、基金の順次増大を図り将来には資金不足で各種大会に選手を送れない団体に手助けをしたり、海外への友好使節団や青少年海外研修に資するため基金創設について見解を求めます。」

曽我非議員＝町振興施策について

(イ)　高生産性大型農業を確立するためには、国の農地取得資金不足のため困難な状況である。よって町に於てこの種の基金創設を創設し貸付する考えはないのか見解を求めます。

(ロ)　住民サービスについて、長患きの多い時等、証明交付、納税等の便宜を図るため、時間外役場の開設（月一回一時程度）が出来ないか。

(ハ)　有休町有地の利用構想の明示について、旧明治乳業跡地旧農種農場跡地の利用計画について再三討論されているがご検討等の利用計画について明示されたい。

詳しくは議会だよりに掲載されることになっております。

■今金町名誉町民に関する条例の一部を改正する条例制定について

毎年11月3日「文化の日」に年金を支給しているものですが、この支給額「15万円」を「60万円」に改めたものです。

■今金町特別職の報酬額、費用弁償額並びにその支給方法に関する条例の一部を改正する条例制定について

費用弁償額

区分	車馬賃（1kmにつき）	日当（1日につき）			宿泊料（1夜につき）			航空賃	鉄道賃（往復1月当たり至4月）
		町内	町外	道外	町内	町外	道外		
	円	円	円	円	円	円	円		円
議員及び年額報酬の支給される各種委員	別	2,000	2,300	3,000	3,700	10,200	11,300	実費	500
非常勤の特別職の職員、非常勤の各種委員及び投票管理者、選挙長、投票関係選挙立会人	30	2,000	2,000	2,000	3,400	8,900	9,900	実費	500

■証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について

区分	車馬賃（1kmにつき）	日当（1日につき）			宿泊料（1夜につき）			鉄道賃（往復1月当たり至4月）
		町内	町外	道外	町内	町外	道外	
	円	円	円	円	円	円	円	円
証人	30	700	2,300	3,000	3,700	10,200	11,300	500
鑑定人、通訳人及び翻訳人（1事件1日以内のもの（職氏を含む。）	30	600	2,000	2,600	3,400	8,900	9,900	500

■今金町職員旅費支給条例の一部を改正する条例制定について

区分	車馬賃（1kmにつき）	日当（1日につき）	宿泊料（1夜につき）		鉄道賃（往復1月当たり至4月）
			町内	町外	
	円	円	円	円	円
実費	30	2,000	2,400	3,900	500

■今金町職員に対する業務手当支給条例の一部を改正する条例制定について

保健婦業務を本務とする職員に支給する手当「6千5百円」を「1万円」に改めたものです。

■今金町立幼稚園条例の一部を改正する条例制定について

園児一人につき保育料「5千円」を「6千円」に、入園料「2千円」を「3千円」に改めたものです。

■今金町社会教育指導員設置及び報酬額、旅費額並びにその支給条例の一部を改正する条例制定について

社会教育指導員報酬「月額10万円」を「月額12万円」に改めたものです。

■経営再建農業者に対する営農資金利子補給条例制定について

（目的）

この条例は、冷害や経済情勢の変動、その他やむを得ない事情等により負担が累積し、農業経営が悪化している農業者に対し経営の再建を図るため、今金町農業協同組合が融通している営農資金の利子補給について必要な事項を定めるものです。

（利子補給の対象者）

(1)農業を主業（専業、一種兼業）とする農業者であること

(2)農業経営再建計画を樹立し、自助努力により経営の再建が見込まれる農業者であること

(3)農協が定める「経営再建農家に係る特別指導要領」に基づいて選考された農業者であること

（利子補給対象資金）

利子補給の対象資金は、農協が経営再建を図るため農業者に貸付している営農資金とするものです。

（利子補給期間及び補給率）

利子補給期間は3年以内とし補給率は年3%以内とするものです。

（利子補給の額）

利子補給の金額は、毎年度、前年の11月11日から当該年の11月10日までの利子補給対象資金につき前項の利子補給率の割合で計算した金額の合計額とします。

（利子補給契約）

利子補給についての契約は、町長が農協との間に締結する利子補給契約によって行なうものです。

（利子補給金の申請）

前項の契約をした農協は、毎年11月30日までに今金町補助金等交付規則に基づき、利子補給金の交付申請書を町長に提出しなければなりません。

（利子補給の可否の決定）

町長は、前項の申請があったときは、今金町農業経営安定推進委員会の意見を聴き、利子補給金の可否について決定するものです。

（利子補給金の交付）

町長は、前項の規定により決定した利子補給金について毎年度12月30日までに農協へ交付するものです。

（利子補給金の打切り、または返納）

町長は、要件が欠けた場合、または利子補給金が国、道等の農業関係制度資金○低利資金による借換措置が講ぜられたとき、並びに農協の責に帰すべき理由により、農協がこの条例に基づく契約の条項に違反したときは、利子補給を打切るか、または既に交付した利子補給金の全部若しくは、一部を返納させることができるものとします。

（報告）

農協は、町長が当該農協の行なった利子補給に係る利子対象資金の融資に関し報告を求めた場合、当該融資に関する帳簿書類等の提出、説明その他必要な報告をする義務を負うものであります。

この条例は、公布の日から施行し、昭和60年1月1日から適用します。昭和60年度に限り、第5項中「毎年度、前年の11月11日から当該年の11月10日まで」とあるのを「本年1月1日から11月10日まで」と読み替えるものです。

■今金町病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について

この条例の施行に関し必要な事項は、町長が別に定めるものとします。

（附則）

この条例は、公布の日から施行します。

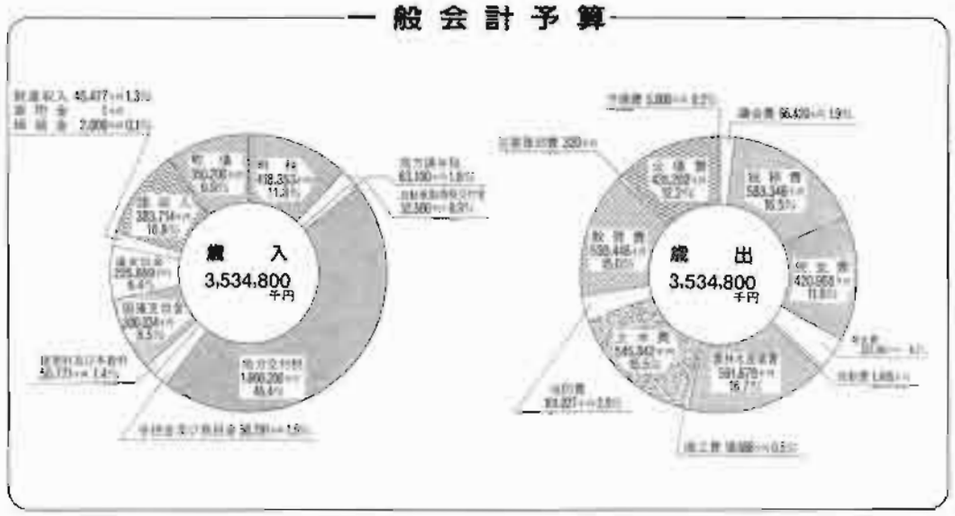
■退職手当の特別加算について

この度3月30日をもって勧奨退職をされることになりました農業委員会局長　亀谷文也　給食センター長　福垣武雄　二氏の加算金、4百6万9千2百円を加算するものです。

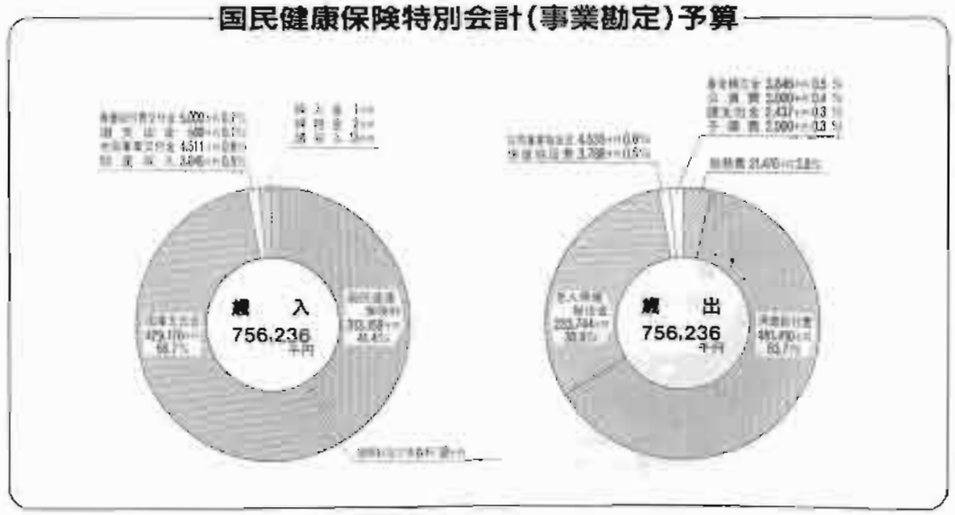
昭和60年度予算総額 59億1千8百52万6千円

	億 千 百		
一般会計	35	34,800千円	(57.7%)
国民健康保険特別会計事業勘定	7	56,236千円	(12.8%)
老人保健特別会計	6	37,719千円	(10.8%)
国民健康保険特別会計施設勘定	8	89,383千円	(15.0%)
簡易水道事業特別会計	1	00,388千円	(1.7%)

一般会計予算



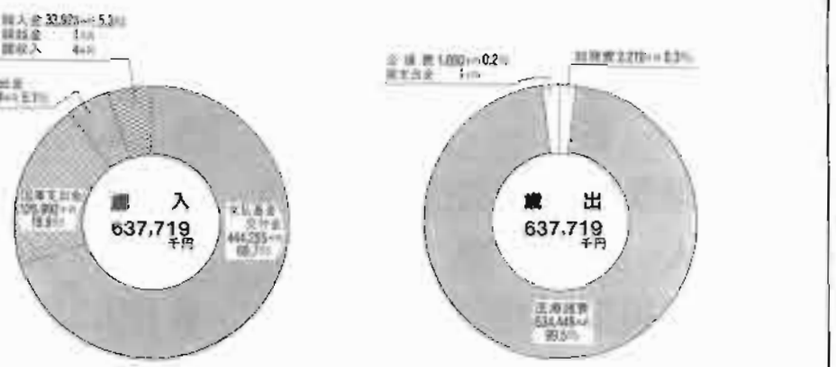
国民健康保険特別会計（事業勘定）予算



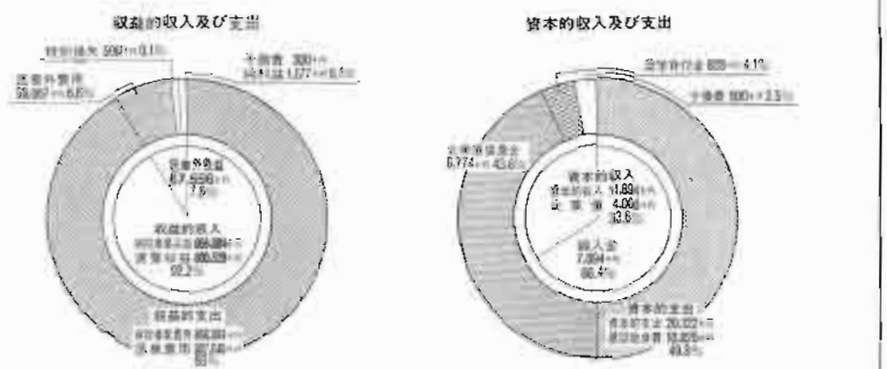
アフリカ干ばつ救援金を受付中です

町民福祉課内 日赤今金分区

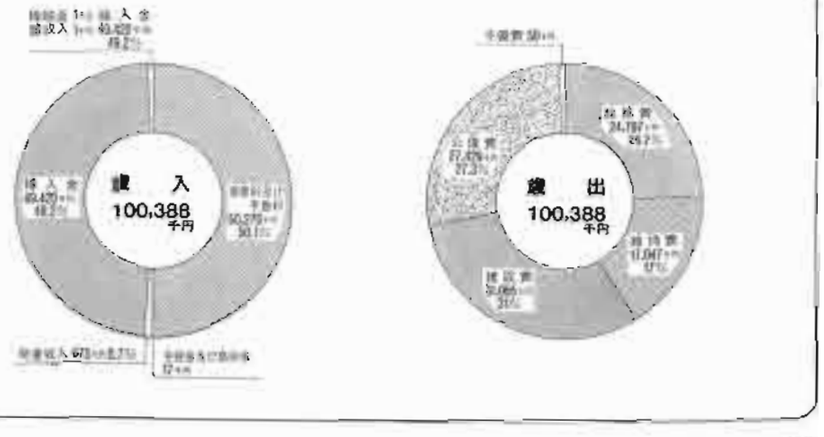
老人保健特別会計予算



国民健康保険特別会計（施設勘定）予算



簡易水道特別会計予算



成人病について「講演会」

健康は毎日の努力



成人病に対する正しい知識と理解を深めるために、3月15日今金町が主催、北部檜山医師会が後援し、函館に「富田医院長」を招き老人福祉センターにおいて開催されました。

演題は「成人病について」であります。この催しに加名余りが参加され熱心に聴きいっておりました。

内容は、食生活のあり方などであり「高血圧の方は、ラーメンのお代りやお汁まで飲むことをさけることです。最近の食生活は、あまりにも長くなりすぎていること、社会環境が複雑化し、腹の立つことが多くなってきており、そのためストレスがたまりやすくなっていることです。

老化現象のはじまりは、細胞が減ると言う学説があります。減ると言うことは免疫性がなくなることです。こうしたことから風邪などの余病原因となることです。

誰れでもが長生きしたいと言う願望があります。

老人化を遅くするには、空気がきれいであること、水がおいしいこと、肌食であることや適度の運動が必要であることです。

自分達の努力によって長寿にすることができます。今金町の場合は、そうした恵まれた自然環境に住んでいることです。

老人になっての病気は、成人病などが持続することによって起きる病気であることです。近年になって、老人の結核病や熱のない肺炎が多くなってきております。

老人性の病気は多種多様にわたり重視して起きるのが老人病であります。現在の病気を知るには、過去の病気を知ることが必要となってきますが、昔の病気のことを忘れてしまったりしてなかなか知ることは難しいことであります。

当分で自分の病気をコントロールすることが大切であります。病院にゆけば良くなると言うものばかりではありません。まずは健康診断の受診をされることが必要であります。単ばかりに頼ることなく慢重な生き方が大切です。注意をおこたったりしなければ健康の保持ができ、愉快な老人生活を送ることができます。

ストレスが原因となる病気も人に対する思いやりや親切にすることがストレス解消になるのではないか——。

ニュージーランドに行ってまいりました時、とても親切であり日本の昔が思い出される感ましやかでした。

ばやばやしていると他人に足をきられるような国の現況にはストレスがたまり過ぎることが多くなっていることです。

血圧計を買い、朝晩はかるよりは体温計を買い注意することが大切です。体重が急増したり急減したりする時は、要注意です。

タバコを控えめにし、毎日の健康を保持することが必要です。毎日まいにちの努力が健康を保持できる一番大切なことであります。」と以上のようなお話しがありました。

労災保険（労働保険）実務講習会のお知らせ

◎労災保険（労働保険）実務講習会

4月23日（火）　13：30 ～ 17：00　八雲町商工会議室

◎申告書の相談及び集合収集

5月9日（木）～5月10日（金）　10：00 ～ 15：00　北檜山町商工会

函館労働基準監督署から

春を待つ

神丘玉ねぎ生産組合

家族村の建設



豊作願っての種まき

北国の雪を克服して営農しようとハウメートルあまりの雪野原除雪、黒々としたその上にビニールハウスを建てる作業が、2月18日から神丘部落、田中春治さん地先ではじめられました。

3月7日には、ハウスの作付計画のもとに、ハウス面積42.42㎡（1坪）の播種が行なわれたものです。

こうして播種された苗は、3月上旬に畑に定植される予定になっているそうです。

この組合の現状について組合長の白岩利勝さんに話しを聞きました。

「昭和55年に補助事業をもってスタートして今年で5年目、技術的なことは取得できました。組合員5戸、夫婦10人をもって組織運営しております。この組合の名称も私たちは、"55長ねぎ生産組合"と呼んでおりますが、現在は、"売る農業"へと転換することが生きのびる唯一の活路になるのではないかと言う気がいたしました。

神岡組織の充実と意識の向上が必要だと思っています。特に難しいことは、この作物は価格の変動が激しいことです。野菜市場の統計的数字を見ると3年に一度暴落することがあります。その年が今年にぶつかってしまってチョット心配しているところです――。でも、当組合が作付している施設的収穫期からすると地元で対処できると思っています。"と話してくれました。

私たちにとって"できた今までの農業経営から脱皮した経営を図らなければならない時代となってしまっていることです。

経営の安定とは、言うまでもなく収入を増やすことです。低経費で高所得をあげることで"生産性の高い農業経営"を図ることです。言うは易しいが実に難しいことです。こうしたことは、経済環境の変化によるものであることです。だからと言って放置できる問題ではありません。

優れた経営感覚が要求され、加工体制の整備や販路の拡大が必要となり、「つくる農業」から"売る農業"へと転換することが生きのびる唯一の活路になるのではないかと言う気がいたしました。

交通安全キャンペーン

保育園児が呼びかけ



「交通安全を守ってください」との今金保育所の園児たち

3月22日役場前、国道229号線において、今年新入学される今金保育所園児14人、小学校保育園児20人が行き交う車に「交通安全をお願いします」とかわいい声で呼びかけました。

3月は、役場若者サークル10人により「子供と老人守り時停止の思いやりを」のチラシやポールペンを配り、ドライバーに協力を訴えたものです。

この企画は、役場若者サークルが初めての試みとして計画、警察や役場の交通安全係の協力を得て実施したものです。

国民年金保険料の変更についてお知らせ

60年4月から保険料"6千200円"が"6千400円"になります。

国民年金制度は、加入者が歳をとったり障害者になったり母子世帯となったときに年金を支給して所得の保障を行なう制度ですが、約束を超される年金はそのときの社会情勢や生活水準に見合ったものとして、5年に一度は制度の見直し面年度の消費者物価上昇に合わせて年金給等の改善をしております。

年金の財源は、皆さんが納付した保険料のほか、国の負担と積立金の利子収入によってまかなわれております。

年金額が上げると保険料の組も上がることになります。

詳しいことのご相談は
町民福祉課
国民年金係へ

国保病院診療科目の変更についてお知らせ

従来、診療してきました眼科、整形外科の診療については、都合により、4月1日から中止いたしますのでお知らせいたします。

国保病院から

犬の登録及び狂犬病の予防注射についてお知らせ

犬の所有者は、毎年1回登録が義務づけられております。狂犬病予防注射については、1年間持経する免疫ワクチンができ、昭和60年4月1日以降から一斉に切り替えられることになりました。

登録や予防注射のされていない犬は飼育できませんので必ず登録や注射を受けてください。

料金の一部改正

手数料区分	従前額(円)	改正額(円)
登録料	2,100	2,100(据置)
注射料	1,340	2,000
注射済票交付手数料	360	400
	3,800(春)	4,500
	1,700(秋)	
年間料金の比較(計)	5,500	4,500

第3回今金地区農村ビーチバレーボール大会

仲よし体力づくり 熱戦楽しく



ハッスル転倒、汗もさわやか

農閑期を利用したこの大会が2月22日総合体育館において開催されました。

農事組合連合会が主催、農協や教育委員会が後援し、地区と地区との交流、親睦を図ることを目的としたものであり、団名の老若男女が参加、体育館せましと熱戦がくりひろげられました。

勝ち抜きで、団結とシュート力を問うバレーボールが多く聞かれ、汗にまみれてがんばりました。いずれのチームが勝利の栄冠をつかむか最後まで「仲よし体力づくり」の名称ふさわしい大会であったようです。

成績は

1位　南陽学Aチーム
2位　美利河Bチーム
3位　旧代Bチーム
4位　豊昇Cチーム

※図書館だより※ 新刊案内

《児童図書》

ローラ・インガルス・ワイルダー　大きな森の小さな家、大草原の小さな家、プラム・クリークの土手で、シルバーレイクの岸辺で、農場の少年

藤原　宰太郎＝まだ夢を知らない　上・下

安西　冬衛子＝ぼくの昆虫採集　上・下

田辺　聖子＝はにめに感想あり

伊野　一郎＝太平洋　上・下

大江健三郎＝いかにも木を殺す

平石　貞治＝虹のカマクーラ課地

久枝＝手の中の雪、別れの金剛

早瀬　圭一＝ぼくらのしるし

宮尾登美子＝陽炎の仮面

ジェー　＝最後の仮面　上・下

徳永田　上・下

図書の寄贈ありがとうございます。

遠藤　哲さん＝八束一号冊

檜本美枝子さん＝日出町2冊

地価公示の活用について

土地の正常な価格を知っていただくために、四月を地価調査及月間としました。土地を売り買いされるときに国で調査をした土地の価格を知っていただき、売り手、買い手に片寄らない正常な価格で取引をしていただくためです。

地価の公示は、毎年四月土地を売り買いされるときの目安とし、国が全国の標準的な土地（住宅地、林地など）を選び正常な価格を調査の上、新聞、テレビなどで一般にお知らせしています。

地価公示価格は、調査をした場所（土地）の価格「モノサシ」ですから周辺の価格もこの価格から推し計ることができます。

地価公示は、今年は四月二日にされますが、このほか道が全市町村で調査している地価調査もあり、土地取引でトラブルのないよう知識を深めましょう。

詳しくは、後場企画調整課、支庁、道庁に電話か直接たずねると知ることができます。

後場企画調整課企画係から

今金老人クラブ婦人部

手作り温かく



ゲームづくりに花いっぱいのクラブ員たち

豊歌園の入園者にオムツなどを3月10日社会福祉協議会に贈呈を手渡されたものです。

この作業には、25人が3日間にわたり協地センターに集まりつくり上げたものです。

材料のサラシ面積については寄贈いただいたもの、残りの面積については自分たちで持ちよ

種川中学校生徒と先生

心こめて

—アフリカ飢餓募金—

つくったものです。

こうした奉仕の精神の芽生えを豊寿園に入園されている方々に少しでも役立ってほしいと寄贈されたものです。

アフリカで困っている人たちにと種川中学校生徒45人と先生3人が3月12日（21日）百円を用意に寄贈したものです。

このお金は、生徒が年中行事そして学びの回収をしてためたお金です。新年になり、このお金の使用用途について生徒会で検討しました結果、アフリカ飢餓にと話しがまり寄贈されたものです。

担当課では、早速日赤を通してアフリカに送ることにいたしております。

函館陸運事務所からのお知らせ

機構改革に伴い、4月1日から名称が次のように変ります。

北海道運輸局函館陸運支局



今月は国民年金保険料の納期です

いま一度、あなたのお手元の納付書（領収書）をお確かめください。

国民年金の保険料を納付期限までに納めません と、万一、病気やケガによって支給される障害年金や不慮の事故で一家主人を亡くし母子家庭となったときに支給される母子年金が受けられないばかりでなく、納め忘れが長期間にわたると、老後のための老齢年金さえも受けることができなくなることがあります。

町民福祉課国民年金係

非行 何が彼らをそうさせるか

怠学……ずる休み

中学生の息子も、もうすぐ2年生。親しい友だちもできたようで、部活には力を入れているし、学校生活にすっかり溶けこんでいる——とばかり思っていたある日のこと、担任の先生から電話がかかってきた。

「お子さん、体の具合でも悪いのですか。このごろ休みがちなのですが……」

「えっ？　そんなはずはありません。毎日、行ってますけど……」

「いえ。昨日も一昨日も学校には来ていません」

「……」

いったい、朝いつもの時間に家を出てから、どこに行っているのだろう？　お母さんとしては、びっくりすると同時に重苦しい不安な気持ちにとらわれるでしょう。しかし、冷静な態度でお子さんと話し合い、学校に行かなかった理由を聞きだしてください。

■怠学は非行につながる

中学生までの日常生活は、家庭を除いたら学校がすべてといっていいでしょう。勉強、遊び、スポーツ、友だち関係……多くのことが学校とのかかわり合いの中で繰り広げられる——これが中学生の日常です。「先生が気にくわない、勉強するのもイヤだ、しかし学校は好きだ」と、子供たちはよく言います。このことからも、中学生にとって学校はいかに大きなウエートを占めているかが、よく分かります。その"好きな学校"に背を向けてしまう——これが怠学です。

怠学は非行につながる、といわれるのは、学校に行かないこと自体が次のような新たな問題を生み出していくからです。好ましくない友だちとの交際が深まっていく危険、学力の低下、思春期に特有の理想主義的な考え方が影をひそめ、向上心がなくなってくるなどなど。そのあげく"勉強などして何になる。世の中、カネ次第さ"などと分かったようなことを言い出して"自己弁護"をするようになりがちです。つまり、怠学中の自分を"肯定"しようとする心が働いているわけで、放っておくと、ますます深みにはまってしまう。

■生活習慣のリズムを崩さないように

堤防の決壊も1センチのひび割れから始まるといわれます。怠学の場合も、理由はいろいろあるにしろ朝の5分、10分の遅刻が、そのうち1時間となり2時間となり、やがて行きづらくなって学校から足が遠のいてしまう、というケースが多くみられます。

ふだんの生活習慣をきちんと守らせること、例えば、最も重要なことの一つとして、毎朝決まった時間に学校に送り出すことを心がけてください。たとえ、お子さんから"口やかましい、しつこい、干渉しすぎる"と言われてもです。

生活のリズム、特に朝のパターンを崩さないようにしていくことが"怠学予防"の第一歩です。

〔指導〕警視庁世田谷少年センター・カウンセラー岩佐壽夫

個人名又は団体名	住所	寄贈内容	寄贈先
小川良昌	八幡町	みかん1箱	光の里学園
アルマ自転車	堅町	タオル100枚	〃
堀田勝幸	江原町	〃 10枚	〃
北畑山小学校児童会	北畑山町	文房具122点 毛糸 17kg	〃
匿名	〃	みかん2箱清涼飲料水10箱	〃
		毛布10枚 バスタオル15枚	〃
白岩勝美	神正	中古衣料 22点	〃
佐々木 徹	新町	〃 18点 石けん45個	〃
藤岸幸治	新穂町	石けん 1箱	〃
山崎竜彦	旭町	ティッシュ 5箱	〃
中島敏信	畑町	タオル(ベスト) 4着	〃
雪女後援団	沼館市	タオル3枚 石けん1箱	〃
所運商店	本町	洗剤 15箱	〃
下岡春佳	江原町	中古タオル類52枚 石けん40個	〃
タヂタ住販	高美町	コーヒーセット 1箱	〃
佐々木金物店	永広町	みかん 1箱	〃
手島カヨ	小輝市	ぶどう 1箱	〃
斗金日石	栄町	みかん 1箱	〃
新井ミヨ	笹石町	〃 1箱	〃
船島順吉	江原町	〃 1箱	〃
山崎トノ	乙部町	〃 1箱	〃
大野敬巳	大成町	みかん 1箱 ジュース 5個	〃
山本ユノ	北陸山町	砂糖 5kg	〃
佐木ノ十	栗町	みかん 1箱	〃
土屋良夫	本立町	お菓子 11袋	〃
村上直太郎	神五	サイダー 1箱	〃
伊藤マユミ	月谷	みかん1箱 石けん1箱	〃
金沢竹次郎	新道	缶ジュース 1箱	〃
高橋孝	小輝市	お菓子 1箱	〃
矢川留吉	八雲町	〃 1箱	〃
小林浩男	札幌市	〃 1箱	〃
佐山吉男	谷の沢町	りんご1箱 バナナ1箱	〃
生島洋子	泉町	アイスクリーム20個 手編手袋2個	〃
金丸和政子	桑町	ケーキ50個 缶コーヒー1箱	〃
林村美雄	新堀町	海苔のり 1袋	〃
高宮マヤ	〃	岩のり 1袋	〃
匿ハイヤー	今金町	みかん1箱ウイスキー1本	〃
山崎トノ	乙部町	ビール 1箱	〃
斎藤幸作	秋江町	酒 1升	〃
斎藤ふとん店	谷の沢町	ビール 1箱	〃
山本酒平	長万部町	ウイスキー 1箱	〃
中村フミ	大和町	鍋 20反 タオル 30枚	今金老人クラブ
小野リノ	高美町	〃 2反	〃
山下トノ子	大和町	〃 1反	〃
中川マヤ	瀬谷	〃 1反	〃
今金老人クラブ婦人部	今金町	おむつ作り寄付 40枚 243枚分各人材料持参	〃
今金老人クラブ	今金町	おむつ 40枚	思寿荘
花石婦人会	花石	お菓子 50袋	〃
神正婦人会	神正	おむつ 40枚 洗濯 22枚 いまかん 1箱	〃
坂本建設㈱	今金町	被害作業単位	〃
中里老人クラブ	中里	¥10,000	〃
〃	〃	¥10,000	光の里学園
大倉啓太郎	�minato町	¥ 5,000	〃
〃	〃	¥ 5,000	小豆金保管組合
匿名		¥ 1,184	社協ボランティアセンター



心痛むあまりに

栗山さんご夫妻

アフリカ飢餓募金
熱い心
結婚費用を節約

飢えに苦しむアフリカ難民に少しでも役立てていただきたい、と今金町美町在住の栗山浩明さん(和子さん)のご夫妻が1月28日、10万円を持参、町長に手渡したものです。

栗山さん夫婦は、2月24日に結婚式を挙げたばかり、その費用を節約して寄贈してくれたものです。「私たちは恵まれすぎております。新聞やテレビなどで見るアフリカの状況には胸が痛む思いがします」と話しておりました。

町当局では、早速日赤を通じてアフリカに送ることにいたしております。

社会福祉協議会だより

個人名又は団体名	住所	寄贈内容	寄贈先
大塚良夫	美忠町	酒 2升	光の里学園
坂本建設	今金	〃 2升	〃
岩波金物	函館市	〃 2升	〃
今金町商工会	今金	〃 2升	〃
檜山広域消防組合今金支署員	今金	〃 2升	〃
川村忠	大和町	〃 2升	〃
今金小学校長	今金	〃 2升	〃
小西建夫	今金	〃 2升	〃
神正小学校長	神正	〃 2升	〃
並々木金物店	永広町	〃 2升	〃
今金商事組合	今金	〃 2升	〃
今金ほくさい	永広町	〃 2升	〃
今金農協組合長	今金	〃 2升	〃
鈴木・村・岩井	瀬棚町	缶ジュース 1箱	〃
村井義雄	〃	瀬棚のり 1袋	〃
林道興業㈱	永広町	サイダー 3箱	〃
山本久治	神正	〃 1箱	〃
浜中雅也	八雲町	ウイスキー 1本	〃
今金町議会	今金	ジュース 1箱	〃
佐々木春夫	瀬棚町	みかん 3箱	〃
石井和之	神奈川県	〃 1箱	〃
今金ペンション石山	大和町	〃 1箱	〃
つぶれ屋	旭町	デコレーションケーキ 1箱	〃
フレンドショップヒオキ	八雲町	〃 3箱	〃
小西三青会	本町	りんご 1箱	〃
石川スポーツ店	本町	みかん 1箱 靴袋 52個	〃

個人名又は団体名	住所	寄贈内容	寄贈先
よたば学園	函館市	トラピストクッキー 14箱	光の里学園
野金	みかん	2箱	〃
南町	〃	2箱	〃
今金	コーヒー	2箱	〃
大和町	ビール	1箱	〃
八雲町	酒	2升	〃
北檜山町	缶ジュース	1箱	〃
〃	酒	1升	〃
上ノ国町	〃	1升	〃
瀬棚町	〃	1升	〃
函館市	ビール	1箱	〃
江差町	みかん	1箱	〃
〃	ビール	1箱	〃
函館市	ビール	1箱	〃
野口陽子	函館	1箱	〃
今金	〃	1箱	〃
本町	〃	1箱	〃
八雲町	〃	1箱	〃
今金	〃	1箱	〃
今金町教育委員会	〃	1箱	〃
今金	〃	1箱	〃
八雲町	〃	1箱	〃
今金	〃	1箱	〃
鍛冶	〃	1箱	〃
新町	〃	1箱	〃
栄広	〃	1箱	〃
今金婦人会	今金	1箱	〃
伊藤マユコ	日吉	1箱	〃
佐藤富男	夏町	1箱	〃
笹井建作	栄町	2箱	〃
金丸豊一	森町	2箱	〃

■4月の休日当番医

7日	北檜山町国保病院	☎④5321
14日	富田医院（今金）	☎②0324
21日	平病院（北檜山）	☎④5011
28日	平病院（北檜山）	☎④5011
29日	今金町国保病院	☎②0221

住民の動態

2月末現在

		前月対比
人口	8,682	（＋11）
男	4,202	（＋3）
女	4,480	（＋8）
世帯数	2,595	（＋4）

◇おたんじょうおめでとう

中島　美佳	1月30日	（光弘　長女）	緑　町
村瀬　美穂	2月1日	（重一　2女）	八　東
松永　悠佑	2月2日	（政幸　2男）	八　東
村瀬　由紀	2月2日	（広一　3女）	八　東
柏田　順也	2月6日	（泰明　長男）	稲　穂
坂上　恵梨	2月11日	（忠義　長女）	商工団地
中田久美子	2月13日	（洋二　長女）	御　影
油家　賢二	2月13日	（久　2男）	大和町
松田　早穂	2月14日	（潤一郎長女）	大和町
伊藤　省吾	2月15日	（現久志長男）	中　里
笠原麻都香	2月18日	（等　2女）	神　丘
沢田　麻美	2月19日	（逸男　長女）	緑　町
船山　明美	2月22日	（清美知長女）	南　町
柴田　珠希	2月22日	（良雄　長女）	日出町
小池　悠士	2月26日	（利雄　長男）	来広町
伊藤　直也	3月3日	（健一　2男）	田　代
目野　裕介	3月5日	（吉司　長男）	昭和町

◇いつまでもおしあわせに

谷　美喜夫（日　進）	＝西館　博美（南　町）
栗山　恭明（東　町）	＝岩田　和子（八幡町）
坪田　　勲（金　原）	＝坪田　友子（金　原）
大沼　彰範（神　丘）	＝岡林久美子（八　東）
沖嵜　直弥（南　町）	＝庄司　明美（南　町）
藤川　伸一（来広町）	＝渡辺由紀子（来広町）
富樫　忠広（日出町）	＝菱島　洋子（北檜山町）
藤田　幸司（寒　昇）	＝浅野　峰子（北檜山町）
加藤　　隆（トマンケシ）	＝中島ゆかり（札幌市）

◆おくやみもうしあげます

高橋　トキ	2月8日	72歳	南栄町
北　一郎	2月12日	71歳	緑　町
河田　義孝	2月14日	71歳	神　丘
北舘フジエ	2月15日	70歳	八　鈴
三島　清治	2月19日	74歳	昭和町
渡辺　政晴	2月25日	60歳	御　影
笹原音次郎	3月4日	83歳	緑　町
木俣　敏	3月3日	82歳	日　進
山口　ヤエ	3月8日	57歳	花　石
加藤　正雄	3月15日	63歳	春日井

発行／北海道今金町役場　TEL代②0111番　編集／企画調整課広報広聴係